



HOKKAIDO! ECO
地球の“いま”と向き合い、“いま”に気付いて、“いま”から思いやりのある行動を
地球にやさしい・エコプロジェクト



地球環境
ノート
VOL. 19

「北海道産・地球環境ノート」は、「地球温暖化」防止に向けた道産効果の高い削減を実現するために、道産木材・北海道産の「いま」やすぐ美観できる「いま」にやさしい生活「シリーズ」でお届けします。

シリーズ19回目のキーワードは「3.8%」

きょう3月8日は、何の日か存じですか？
答えは、みんなで森林を支えていく「フォレスト・サポーターズ」の日。
CO2を吸収してくれる森は、地球温暖化防止にも役立っており、日本の温室効果ガス削減目標6%のうち、3.8%は森林吸収分なのです。
家族と、職場の方と、また一人静かに、森林について考えてみましょう。

3.8%

さまざまな機能を
持つ森林

森林国ニッポン
日本は国土のほぼ7割を森林が占める森林国です。森林は地球温暖化防止のほかに、山菜やキノコなどの山の幸、家や家具などに使われる木材を供給してくれたり、洪水や土砂崩れを食い止める役割を担ってくれたり、きれいでおいしい水を生み出してくれています。また、たくさんの動植物に住みかを提供するなど、さまざまな機能を持っています。

人が育む
豊かな森林

緑のサイクルをこれから
「木の文化」がある日本では、森の恵みを暮らしに取り込み、豊かな森林を育んできました。ところが林業の採択性重視の政策や山村の過疎化などにより、種々育つてきた「取組む」という循環が崩れ、森林の機能低下が危ぶまれています。森林の力を回復させるために、森に手を入れ、使い、また植えて、育てて、というサイクルを取り戻すことが大切です。

温暖化防止を
確実に

森の手入れが目標達成のカギ
京都議定書は、温暖化防止のために、各国の温室効果ガス削減の目標を定めた国際条約です。この京都議定書では、目標達成に認められる森林の吸収量は、1990年以降、人の手が入った森林の吸収量しか認めないというルールになっています。日本の削減目標6%のうち、森林吸収分は3.8%。これを確保するためにも、間伐などの適切な手入れが必要です。

森の元気を
取り戻そう

みんなで森をサポートしよう
「フォレスト・サポーターズ」は、林業に携わる人や山村に住む人だけでなく、都市に住む人々や企業も参加しながら、かけがえのない森林を取り戻すための国民運動です。日本のために、地球のために、あなたも参加しませんか。詳しくは、フォレスト・サポーターズウェブサイトをご覧ください。
http://www.mori-zukuri.jp

※参考資料:美しい森林づくり推進国民運動フォレスト・サポーターズウェブサイトほか

美しい森林づくりを、北海道から

これまで利用されていなかった森林資源で付加価値の高い製品をつくり、森の循環を促進し、地域を元気にする。この志を胸に、環境先進国ドイツ発祥の技術を北海道に取り入れ、日本へ広めようと奮闘されている方がいます。(株)木の繊維の代表取締役 大友 詔雄さんに、高性能で環境に優しい「木の断熱材」普及への思いを語っていただきました。



北の森林資源でブランドを

「木から生まれる断熱材」
「木質繊維断熱材」は、木材を特殊したチップを細かく繊維状にした、スポンジ状にやわらかく成型した断熱材です。この技術を開発したのは、環境先進国ドイツの企業で、断熱性能は従って、生産に伴うエネルギー消費やCO2の排出が極めて少ない点が特徴で、CO2の排出が各国に比べて約半分です。当社が目指しているのは、この企業とライセンス契約を結び、今年6月の発売を目標として、原料は北海道産の木材から得られるチップや、チップの副産物として、断熱材の製造に活用されています。断熱材の性能は、従来の断熱材よりも高く、断熱性能が2倍、断熱材の厚さが薄く、断熱材の重量が軽いため、断熱材の活用が促進されています。また、断熱材の生産に使用しているエネルギーは、現在主に、使用されているバイオマスエネルギーです。

「木材地産」が森を救う
日本は森林国ですが、外国産の安価な木材が入り込んで、木材地産が救われることがありません。断熱材の製造に使用しているチップは、断熱材の製造に使用しているチップの副産物として、断熱材の製造に活用されています。断熱材の性能は、従来の断熱材よりも高く、断熱材の厚さが薄く、断熱材の重量が軽いため、断熱材の活用が促進されています。また、断熱材の生産に使用しているエネルギーは、現在主に、使用されているバイオマスエネルギーです。



(株)木の繊維 代表取締役 大友 詔雄さん

緑の循環を支えるために
SGEC森林認証制度

SGEC緑の循環認証制度とは？
日本の森林環境を守ることを目的に生まれた制度で、森林を対象とした「SGEC森林認証システム」と、林産物を対象とした「SGEC認証生産物流通システム」があります。

SGECのマークが目印!
SGEC森林認証システム
SGEC認証生産物流通システム
SGECのマークが目印!

森の循環は、環境にやさしい国産材をわたしたち消費者が選び、使っていくことで確立されます。製品選びにも役立つ知識として、SGEC認証制度についてご紹介いたします。

緑の循環
SGECのマークが目印!
SGEC森林認証システム
SGEC認証生産物流通システム
SGECのマークが目印!

美しい森林づくり推進国民運動
フォレストサポーターズに登録しませんか!
登録はこちらから
フォレスト・サポーターズウェブサイト
http://www.mori-zukuri.jp

フォレスト・サポーターズは、森林の元気を取り戻すための国民運動。4つのアクション「森にふれよう」「木をつかおう」「森をささえよう」「森と暮らそう」のうち、1つでも実行することを誓えば、どなたでも一員になれます。

きょうからやろう! 森のための4つのアクションプラン

ACT 1 森にふれよう
森で行われるイベントや活動に参加してみよう
体目の日は、気軽に森に歩いて遊んだりできるイベントや、森を楽しむ活動などに参加してみよう。森にまつわる活動を行っている団体や地域の活性化が図られます。

ACT 2 木をつかおう
間伐材などの国産材でつくられた製品を使ってみよう
はしやお皿、文具、家具、燃料、家などに、間伐材などの国産材を使ってみよう。木に携わる人や伝統工芸の活性化、森の循環の再生、林業や山村の元気に繋がります。

ACT 3 森をささえよう
募金やボランティアをしたり、ふるさとでの森の手入れをして森をつくろう
森林ボランティアや企業による募つくり、緑の募金などを通じて、森づくりを応援しましょう。故郷に森を育てる人は、手入れにより森をよみがえらせます。

ACT 4 森と暮らそう
農山村の暮らしに触れたり、森で働いてみよう
農山村を訪れて、あそび共する暮らしにふれたり、人々と交流してみよう。森を活性化したい人は「緑の雇用」をサポートする窓口を助けて、森で働いてみよう。

緑の募金で森を増やし環境を守ろう
「緑の募金」で森を増やし環境を守ろう
北海道での「緑の募金」は、北海道と緑の会が実施団体です。今年も募金の会(4月25日～5月31日)やボスサマセット募金(6月1日～24日)などを実施。街募金などボランティアの協力も募つておは、地域の森づくりに使われます。北海道と緑の会では、募金を集めて寄付しているが、募つくりで社会貢献したいという企業、CSRの観点にも応じています。